

# 目白大学新聞



編集 目白大学社会学部 〒六二一五三九 新宿区中落合四一三一一 TEL 〇三九五九六一三三三〇

## 富士山のゴミを清掃する アルピニスト

登山家の野口健氏が6月6日、目白大学で講演会『あきらめないこと、それが冒険だー富士山から日本を変えるー』を行った。(2014年目白大学創立20周年プロジェクト・社会学部地域社会学科主催。折しも同月末、富士山が日本で13番目の世界文化遺産に登録され、富士山がこれまでになく脚光を浴びている。とはいえ、富士の遺棄は美しくとも、その麓は不法投棄のゴミで溢れている。そのゴミを自ら清掃するアルピニストの野口氏だが、なぜ、いかなる経緯でその活動を始めたのだろうか。

野口氏は10代の頃から世界の有名な山への登山に挑戦し、25歳の時にエベレストの登頂に成功、「七大陸最高峰登頂世界最年少記録」を樹立した。そんな野口氏だが、登山活動をしている際、ある衝撃を受けた。エベレストに初めて登った時に他の国の登山家から「日本人はゴミを散らかす。ヒマラヤを富士山にするのか」という苦言をぶつけられた。なぜ富士山が名指されたかという、登山家の中で世界が一番ゴミが多い山として知られていたからだ。ヒマラヤのベースキャンプを少し離れたところ、沢山散らかっていて、そのゴミのほとんどに日本の文字が書かれていた。野口氏は、この現実を前にして悔しいと感じ、そのことがきっかけとなり、富士山の登山清掃を開始した。

また、野口氏には環境問題に対する訴えを自ら示したいという意志があった。警察にゴミの不法投棄を報告しても全く動こうとはしない。それなら警察ではなく、自分から活動をしていけばいいのではないかと。そして社会を動かしていけばいいのではないかと考え、現在では定期的に山に登って

清掃活動を行い、清掃登山に積極的に一般人の参加を呼び掛けている。野口氏は日本人の父親とエジプト人の母親の間に生まれた。アメリカで生まれ、4歳の時に日本の学校に通った。入学した当初、日本語がわからないため、英語で自己紹介をしたところ、クラス全体がざわついた。それから外国人という目で見られたのをきっかけに、いじめが始まる。母親に勧められて、逆に「いじめられた人にやり返しなさい」と叱られた。「目は目を」というエジプト人にとっては当然の教育であり、問題があれば自ら積極的に行動するというのが野口氏の性格を形成する要因のひとつとなった。

それに加え、積極的に清掃活動を行うようになったのは、「社会にはA面とB面の二つがある」という父の教えがあったからだ。社会の表側(A面)は何もしてなくても見えてくる部分だが、社会の裏側(B面)は現場に行ってみないとわからない。B面の部分に真の問題点が潜んでいるということもある。そのため野口氏が重要視していることは、とにかく現場に向かうことだ。ネットや本で調べることはいくらでもできるが、現地に行つて自分の目で確かめることが肝要だという。それは富士山のゴミ問題だけでなく、あらゆることに共通することだ。まさにこのことの大切さを目白生に伝えたいと力説していた。(編集部3年 大友邦裕)



目白大学で講演をする野口氏



野口氏が収集した不法投棄ゴミの一部 目白大学にて展示

世界文化遺産に登録を果たした日本の屋根、富士山。今年例年の1.3倍に上る40万人の登山者が訪れると予想され、読者の中にも今年こそはと登山計画を練っている方がいるのではないだろうか。だが、富士山は甘くはない。編集部が、富士山に3度の登山経験があるが、無事に登頂でき、ご来光を拝めたのは1度だけだった。

富士山に初挑戦したのは2008年。私が高校1年生の時のこと。話の発端は父の誘いだ。「日本に生まれたからには1度は富士山登頂を果たしたい」という父のかねてからの願いで両親、妹、そして私の4人で富士山に挑戦することになった。最初に必要になったのは装備だ。登山ガイドブックを参考に服や靴、ザック、雨具などを揃える。半袖のジーンズで装備もなく登るといふ人がいると聞くが、雨天の富士山を経験している私からすると無謀と言わざる

## 3度挑戦して初めての登頂 本校学生の富士登山者

をえない。私達が富士登山に使ったルートは登山者の中でも定番となっている吉田口登山道。5合目まではマイカーとバスで登る。私たちは吉田口から8合目を目指し山小屋で1泊、翌朝8合目から日の出を見た後山頂まで登るといふ登山計画を組んだ。後の2回も同じ計画で登ることになる。定番の登山コースといっても岩場が多く、簡単なという訳ではない。このルートが多量の登山者で選ばれる理由には小屋の多さがある。天候が悪い時や、体調が優れないときにはすぐに駆け込むことができるから。順調に登っていた私達だが、8合目で宿泊した翌朝、豪雨に遭遇。どんなに綿密な装備やルート計画を立てていても天候には勝てない。雨が降ってしまったらそれより上に登ることは困難となる。山小屋で止むのを待つこともできるが、岩場が多いこのルートで雨後に登るのは初心者の私たちにとって危険過ぎるという理由から下山した。自然への敗北を噛み締めながら下山した。

次に登ったのは翌年2009年。昨年の経験から雨天装備を強化して挑んだが、前回とさほど変わらぬ標高で再び雨に遭う。二度目の下山を強いられ、挑戦はさらに先送りとなる。3度目の挑戦は2010年。大学1年の夏である。今回の挑戦には妹が参加せず、両親と私の3人で登る。3度目にもなると慣れたもので、ルートへの心配もなくなりスムーズに足を進めることができた。途中中山小屋で休憩



編集部松本が撮影した富士山頂付近の景色

その後は無事に山頂を踏破し、下山の途についた。途中で濃霧に見舞われることもあったが、初心者にしては好ペースの4時間前後で5合目まで下山した。3度目の正直で登頂を果たした私の富士山。再度、悪天候に見舞われていたら4度目の挑戦をしていこうと思う。それほど富士山は魅力的な山なのだ。私のように幾度も悪天候に遭わなければ難しい山ではない。私も機会があれば是非もう1度山頂からの景色を眺めたい。(編集部3年 松本崇弘)

### INDEX

岩槻キャンパス 国家資格試験 合格率100%!! 2面

NO AKB, NO LIFE AKB大好き 目大英語講師 3面

日本初! 心理治療で タバコをやめよう! 3面

世界へ羽ばたけ 目白大学の グローバル人材 4面



# 国家資格試験合格率100%!

保健医療学部長の齋藤佐和教授は、こう説明する。

「目白大学の医療系学科は1クラス約40名程度であることもあって、岩槻キャンパスの教員は学生一人一人に1年生の時からかなり近い距離で、学生のレベルや方向性に合った授業や指導を行うことに尽力している。科目履修の面で、学年の専門科目を履修・合格しないと実習などに進むことのできない仕組みになっており、1年生時から気を抜かない。新宿キャンパスの学部と比べると、おそらくテストや進級のハードルはかなり高いと思う。しかしその高いハードルを、学生達は各学年においてそれぞれ配慮された指導を受けることで乗り越えていく。この仕組みが4年間で学生を国家資格取得可能なレベルまで成長させて「育てて送り出す」ことを教育方針

## きめ細かい個人指導

「1年生の段階から実習を行いながらの授業があり、学科によっては国家試験を意識した取り組みが早々に始まる。授業も厳しく自宅での課題も多い。キャンパスにはサークル等も存在するが、あくまで『思抜き』。忙しい中、気の合う仲間とリラックスする場所という位置づけで考えている学生が多いと思う。必然的にアルバイトを精力的に行っている学生は少数派」

学科	資格	平成24年度本学卒業生			全国合格率率 (%)
		受験者数(人)	合格者(人)	合格率 (%)	
理学療法学科	理学療法士(第48回)	88	81	92.0	88.7
作業療法学科	作業療法士(第48回)	45	43	95.6	77.3
言語聴覚学科	言語聴覚士(第15回)	32	32	100.0	68.1
看護学科	看護師(第102回)	94	91	96.8	88.8
	保健師(第99回)	81	81	100.0	96.0

とする目白大学のきめ細かい指導が功を奏したといえる。学生自身の努力はもちろんのこと、教員の努力も実を結んだのだ。とはいえ、100%という数字は特筆に値する結果である。この点について、齋藤教授のコメントを求めた。

「目白大学の医療系学科は歴史が浅い。今回の結果は、設置当初から目指してきた『学生に寄り添った指導』が実を結んだものだ。受け取っている。100%という数字はたまたまという面もあるが、私達の指導の成果が近年少しずつ現れて次第に高い数字となってきた。今回はその中でも『100%』であり、嬉しいと同時に、今後も高い国家試験合格率を出していかなければと身の引き締まる思いだ」

齋藤先生から聞いた「僕は3%を背負っている」という学生の言葉が印象的だった。新宿キャンパスで就職率が何%だといっても、多くの学生には実感がないかもしれない。しかし学生数が少ない岩槻キャンパスでは、学生一人一人の国家試験合格は明確に合格率に反映され、学生一人一人がその責任を自ら感じることになる。その重みも勉強への強いモチベーションになっているという。(編集部3年 武山和正)

## 命の儚さと大切さを学ぶ

目白大学に「命の儚さと大切さ」を学ぶ授業がある。それは人間学部子ども学科の「子どもと自然」という授業で、食育の実習の一環として学生たちが育てたウツケイを「絞めて」食べるというものだ。子ども学科の高橋弥生教授によると、東京農業大学の池田周平教授の指導の下、学生がウツケイの頸動脈を切り、放血(鶏の血を抜く)作業。させ、湯漬けした後、羽をむしって解体し、鳥鍋にして食べるのだという。なぜそのような実習をあえて実施しているのか。

「多くの人はスーパーなどに売られている鶏肉を見ても、そこに並ぶまでの経緯があるのとは分かって、無視しています。でも、そこに並ぶまでに誰かが絞めて解体するという作業をしているのです。その事実を知らずに平気で食べ物を残したり、ましてい言ったりするのはおかしいと思います。この事実を知らないのでは、本当の意味での命の大切さを教えることはできないでしょう」と、高橋教授。

この実習に対する学生たちの反応はというと、最初は腰がひけているが、羽をむしる作業はまていくと、自分が見慣れた姿になってきたせいか、積極的になってくるという。



子ども学科 高橋弥生教授

「実習前は『かわいそう』『なんでこんなことをしなくてはならないのか』という抵抗を示す声が多いです。耐えられず最後まで見ることができなかった学生は実習後、この食育に対して抵抗的でした。しかし、ほとんどの学生は『命があっけなく終わることに驚いた』『簡単にしくなってしまう命だからこそ大切にしなければならぬ』と感じるようでした」

基本的な授業内容は、動物の飼育の仕方

とその実践や、植物(花や野菜)を育てるといったことを理論的・実践的に学ぶものがあるが、やはり授業の核となるのは、「命」だという。

「多くの人はベトナムとかかわいいものに對しては命を感じますが、ちよつと汚かったり、虫や植物などに対しては命をあまり感じていません。かわいいものもそうでないものも、人工物以外は『命』があるというのを感じてほしいです」

高橋教授は、このような食育の実習に対して反対意見もあることを承知しているという。「しかし」と高橋教授は反論する。

「この実習は殺すためではなく、命の大切さを知り、それをありがたく頂くということを学ぶ授業です。辛い実習ではありませんが、終わった後、学生たちは命の儚さや大切さを知り、とてんと学んでいるので、とても有効な授業であると感じています。それから学生たちが将来、保育者として子どもたちに命の大切さを教える、植物や動物を子どもたちと育てながら喜びを感じてもらいたい。そういうことができる保育者になってもらえたら嬉しいですね」

(編集部3年 小田阿弥 西田亜侑美)

# 学業とアルバイト、両立できない学生2割

## 目白大生、1/3が奨学生

学生の就職難などの影響で未返還の奨学金が増え、その額は総額876億円(2011年度末)に上り、奨学金の未返還額と滞納者の数は約33万人に達している。そのような状況下で日本学生支援機構は、学生の所属大学などによる「適格認定」を覆し、約600人(2012年度)の奨学金の原則廃止を大学側に通知した。

奨学金には一種(無利子)と二種(有利子3.0%)があり、学生は入学前に最高50万円、月々最高12万円を借り入れることができる。つまり、4年間の最高貸与額は626万円となる。大学卒業時の若者が、すでに600万円以上の借金を背負うというわけだ。さらに第2種奨学金なら返済額に3%の金利が上乗せされる。返済は卒業後半年から始まり、月12万円借り入れた場合、毎月32,297円返さなければならず、それが最長で20年間続く。(入学前に50万円借り入れていた場合は、月々35,152円)

目白大学でも約6500人いる学生の3分の1ほどの約2000人が、日本学生支援機構奨学金からの奨学金を借り入れている。以下がその内訳である。

(数字は2013年度7月時点)

	一種	二種	合計人数
大学(新宿・岩槻キャンパス)	357	1537	1894
短大	15	78	93
大学院	23	3	26
合計	395	1618	2013

「昨日、奨学金の返還滞りが大きな社会問題となっている。奨学金とは、独立行政法人日本学生支援機構が秀でた能力を持つ学生に対して学費の援助や支援を行なう制度である。近年では、家庭の経済的理由で修学が難しい学生に対しては奨学金として学費の貸与を行なっている。」

奨学生は毎年、新年度前に家計の状況や、成績、返済義務の自覚などを記入した「奨学金継続願」という書類を提出する必要がある。書類を元に新年度の奨学金の貸与が可能かを審査する。止むを得ない理由もなく、規定の単位を取得できていない、遅刻欠席が多い学生は最悪の場合、奨学金の貸与を打ち切られてしまうこともある。現在、奨学金の返還の滞りが多く見られるため、貸与の審査がさらに厳しくなりつつある。

目白大生の中にも、この奨学金制度を利用して真面目に修学に励む学生がいる。しかし、その反面、奨学金を借りているながら貸与打ち切りの警告を受けるような学生もいるという。また、家庭の経済的な理由で修学が困難にもかかわらず、奨学金を借りずに自らがアルバイトをし、そのアルバイト代を学費に当てている学生もいる。非常に勤勉な学生ではあるが、はたして奨学金とアルバイトの両立は可能なのだろうか。いくつ学費のためとはいえ、奨学金がおろそかになってしまえば元も子もない。

そこで今回、目白大学の学生280名(有効回答者数262名)を対象にアルバイトに関するアンケート調査を行った。アルバイトを行なっていると回答した学生は大半である253名。大学生になるとアルバイトを始める学生が多

いからか、ほとんどの学生がアルバイトをしていた。さらに、アルバイトを行なっている学生には奨学金の両立が可能か質問をした。すると、2割近くに上る45名が両立できていると回答。奨学金が本分である学生という身分でありながら、その多くがアルバイト中心の生活に傾倒してしまっているようだ。今回のアンケートではアルバイト代を学費に当てている学生が13名いた。その内ほとんどの学生が、幸いにも奨学金とアルバイトの両立ができていたと答えている。

前述した通り、卒業後に奨学金の返還を滞ると給与が差し押さえられることもある。また困るのは自分ではなく、これから貸与を希望する後輩たちである。将来のためにも学生の内に奨学金に励み、計画的に奨学金を返還するのが懸命だろう。

(編集部3年 松本崇弘)

# 人気教授紹介

## 音楽がいつも流れている授業がある。1・2年生の必修である英語のクラスだ。その音楽は多種多様なが、時にはAKB48が流れていることもある。一体、どんな授業を行っているのか。その授業を担当しているのは、ケヴィン・スコット先生だ。

スコット先生が、初めて日本に来たのは1988年1月、長崎で英語を教えるためであった。その時の日本での体験がとても楽しく印象的であったため、その後アメリカで2年間、教育と日本語について学び、再び日本で英語を教えることになった。

日本の文化や食べ物など好きなものが多く、日本人も礼儀正しく、協力的で大好きだという。スコット先生の日本語は非常に流暢であるが、日本語は大学で勉強した以外は全て独学であり、現在では子供と共に漢字クイズをして遊ぶこともある。休日には日本人の妻と2人の息子と旅行などをして、日本での生活を満喫している。

とはいえ、やはり来日当初は、言葉で苦労することが多かった。文化の面での違いもあり、日本人の「和」を尊ぶところと、アメリカ人の「自由」を尊重するという国民性の違いに戸惑った。現在でも、その違いにストレスを感じることも間々あるという。他にも、日本には挨拶や先輩後輩の関係、お歳暮やお中元の習慣といった、眼には見えない不文律の社会ルールが多く、アメリカ人のスコット先生にとって違和



ケヴィン・ダグラス・スコット (Kevin Douglas Scott)、外国語学科英米語学科非常勤講師。1964年カリフォルニア生まれ、カリフォルニア州立大学院修了。

# NO AKB, NO LIFE!

## 『失敗は成功の元』と『どんちゃんチャレンジをー』

感を感じるものもあるという。スコット先生は、10年ほど前から週2回非常勤講師として目白大学で英語を教え始め、その経験はかなり楽しいものだった。生徒たちだけでなく一緒に働く先生たちも優しく、学内の雰囲気がとてもよかった。そんなスコット先生の授業は、音楽を使うクラスとして学生たちには広く知られている。スコット先生は、「NO AKB, NO LIFE!」(AKBなしでは、命がないのと同じ!)と語るほどAKB48が好きで、特に大島優子と篠田麻里子のファンだ。

そんな先生の授業のモットーは「『退屈させないこと』。つまらないと学生が飽きてしまい、集中力も欠けてしまったためCDで音楽を流すことも、その工夫のひとつである。

また、先生は「間違いは勉強のチャンス」であるとし、「日本人は、失敗することを恐れてしまいがちであるが、『失敗は成功の元』というように、どんなチャレンジしていくことも重要だ」と強調する。

「まずは、何でもいいで何のためか、に学ぶのかという、はっきりとした目的をもって毎日少しずつ学んで行くと大切。また、勉強という意識よりも英語で遊ぶくらいの感覚でやっていた方がイメージもよく、ポジティブに長続きすると思うので、怖がらないで頑張っていけるようになってほしい」

(編集部3年 小田阿弥)

# 小林多喜二と目白大学

林多喜二、という作家をご存知だろうか。昭和初期に隆盛を極めたプロレタリア文学の作家で、代表作の『蟹工船』は、近年ふたたび人気を博してニュースになったのは記憶に新しい。しかしこの小林多喜二、目白大学のある中井・落合の地と浅からぬ因縁を持つというところは、この地に暮らす者には、案外知られていないことなのではないだろうか。

本学の先生方がお書きになった『落合文士村』(目白学園女子短期大学 国語国文学科研究室編、双文社出版、1984)という本によると、多喜二は北海道拓殖銀行小樽支店に在職中の昭和3年(1928)5月中旬に初めて上京し、現在の月見岡八幡神社の近くにあった、ナップ(全日本無産

## 落合文学散歩

その他にも、中井・落合と文学の関係は非常に深いものがある。本学の正門から六の坂を降りた先にある三ノ輪の地には林美美子が住み、川端康成が足繁く訪問したというが、その終の棲家は林美美子記念館として今に残る。またほぼ時を同じくして、植一雄・尾崎一雄らが三ノ輪にやってくる妙正寺川あたり「ちよとどネギラーメン」の「せりか」がある辺りから中井駅前を闊歩していた。のちに尾崎一雄は芥川賞を、植一雄は直木賞を、それぞれ受賞することになるが、落合斎場近くに住んでいた評論家・古谷綱武が、植の才能に惚れ込み、中井駅前にあった喫茶店「ワゴン」に出没する植を待ち受け、念願の邂逅を果たしたその直後に、植は古谷を介して、太宰治と知り合うことになる。植と太宰の二人は意気投合してすぐに親友となり、太宰は西武線に乗って中井にやってきては植の許を訪れ、二人連れ立って遊びに出かけていたという。他にも近代文学の著名な作家で、落合の地



『蟹工船』初版本1929年刊

に関係深いのは、吉屋信子・平林たい子・壺井栄・中條(宮本)百合子、といった女流作家に、吉川英治・林房雄・伊藤整(目白商業の非常勤講師、実は多喜二の学校の後輩にあたる)など数挙に暇がない。前出『落合文士村』は、目白学園の開学60周年を記念して出版されたものだが、奇しくも今年には本学園の開学90周年に当たる。30年の時を経て、もう一度、この学園付近に眠る近代文学の息吹を探して行動を起してみたらおもしろいことになりませんか、などと思いつく、植や太宰や古谷が千鳥足で歩いた道を通って、今日も地下鉄東西線の落合駅から、大学まで通っている、わたくしなのである。(社会学部メディア表現学科 石澤一志専任講師)

# 心理治療でタバコをやめよう!

## わ

が国の喫煙人口は年々減少しているものの、今なお男性の喫煙率は30%を超えており、これは先進国の中ではきわめて高い数値である。世界保健機関(WHO)は、喫煙が原因で毎年540万人もの人々が死亡していると推計しており、これは実に6秒ごとに1人が死亡しているという計算になる。日本でも、いわゆる喫煙関連疾患で毎年27万人が死亡しているとの報告もある。さらに、受動喫煙の害も無視できない。夫が喫煙者である場合、妻が非喫煙者でも肺がんのリスクは2倍以上になることがわかっている。厚生労働省が「健康増進法」に基づいて、国民の健康増進を目的に進めている「健康日本21」という施策では、喫煙について成人喫煙率の半減、未成年

## 保護者、新聞の読者も参加可能

禁煙に関してもうひとつ有効な方法は、認知行動療法と呼ばれる心理療法である。これは喫煙に関する「引き金」を特定し、

者への喫煙ゼロを目標に掲げている。目白大学でもキャンパス内の分煙化を進める一方で、学生に対して禁煙や喫煙マナーの向上を呼び掛けるなど、禁煙・喫煙対策に取り組んでいるところである。しかし、この禁煙に関しては自力で達成することにはきわめて困難で、成功する確率は5%にも満たないのが実情である。そのため「ニコチン依存症は病気である」との認識の下、2006年から禁煙外来に保険が適用されるようになった。禁煙外来での治療は薬物療法が中心であるが、保険適用になるためにはいくつかの条件があり、喫煙年数の少ない大学生は残念ながら適用されない。大学生が保険で禁煙外来の治療を受けることは不可能である。

それに対する効果的な対処法を学んでいくという治療法であり、薬物療法と同等の効果があると科学的に実証されている。適用条件に制限はないし、もちろん副作用もない。ただし、わが国では認知行動療法によって禁煙支援をしている医療機関は皆無といってよい状況である。こうした状況を改善するために、われわれの研究グループは、わが国で初めて認知行動療法による禁煙プログラム「STOP-STEPプログラム」を開発し、これまで大学生を中心に実際に禁煙支援を行ってきた。その成果は学会でも注目されており、今年の冬ごろまでにはワークショップとして出版される予定になっている。今回その出版を前に、より多くの方々に広く呼び掛けて、この最新の治療法による禁煙にチャレンジをしていただくということになった。目白大学の学生、保護者(父兄)、関係者、あるいは目白大学新聞の読者の方で禁煙に関心のある方は、この機会にぜひ参加をお勧めしたい。受講費は無料であるが、くじ引

きで参加者を決定するため、全員が参加できるとは限らないこと、参加できてもできなくても喫煙状況等に関する調査に協力をしていただくことなどの条件がある。参加ご希望の方は、タイトルに「参加希望」と記載の上、氏名、年齢、連絡先(メールアドレス、電話番号)を記載し、charata@mito.ac.jpまでメールでご連絡いただきたい。自分の健康のため、そして家族や大事な人の幸せのため、この機会にぜひ禁煙にチャレンジしてみたいいかがだろうか。(人間学部心理カウンセリング学科 原田隆之准教授)



# トライインガルへの挑戦

## 目白大学の外国語学部では、カリキュラムの二環として海外への留学・研修が組まれている。社会では「グローバル人材」の必要性が叫ばれているこのころだが、日本を飛び立ちカナダへの留学にチャレンジした英米語学科の目白生のひとりが松田美幸さん（現3年生）だ。

松田さんはもとより音楽が好きで、その中でもジャズ・ビバップの音楽を聴いているうちに英語を勉強したいと思うようになったという。毎日英語に触れられる環境に身を置きたかったと、父親が英語を話せるということも影響し、留学を決めるきっかけとなった。

松田さんは、日本人の父とメキシコ人の母との間に生まれたハーフであり、かねてより外国の文化に触れる機会が多かった。家では日本語とスペイン語が混ざった会話をすることもあり、日慣れ話ならスペイン語を流暢に話すことができる。

それだけスペイン語に堪能なのに、英米語学科に進んだのはやはり音楽を通して英語に興味を持ったからである。そんな松田さんが留学先に決めたのはカナダのバンクーバーだ。

松田さんは留学期間中、ホームステイをしていた。世話になったホストファミリーは70代前半の老夫婦であった。生活面で特に厳しいということもなく温かく迎えてくれた。しかし、二人は松田さんが帰宅する20時ごろにはもう寝てしまっていたため、用意された夕飯をいつも一人で食べていた。学校にいた以外は一人の時間が多かったため、ホームシックになり、辛かったという。

留学期間はおよそ4ヶ月と短期であったが、カナダの色々なことが分かった。まず、カナダには日本食レストランが多いなど、町中に「日本」が溢れており、親日家が多いということ。そ

# 目白大学のグローバル人材

して英語圏であるカナダはやはりレディファーストの習慣があり、殊に女性に対し親切な人がとても多かった。また、すべての店で禁煙を徹底しており、タバコは外で吸わなければならぬ。愛煙家には厳しいが、日本にも見習うべきマナーや習慣が多い。逆に、バスの時刻表がないなどトルズなどころもあり、時間きちんとしている日本の良さを改めて認識するつもりで来たという。

松田さんがカナダに行つて成長したと思うところは英語力が伸びたこと。つまり、まだまだチャレンジ段階とはいえ、松田さんは日本語、スペイン



松田さんとホストファミリー

語、そして英語と三方国語を操ることができるとトライインガルになりつつあるのだ。それから自分に責任が持てるようになり、自立できたと感じている。そんな彼女の将来の夢は、様々な国の人々が行き交う国際空港のランドスタッフ。目白のグローバル人材として世界へ羽ばたくことが期待される。

(編集部3年 西田亜侑美)

# 韓国語学科 人気はいかに？

ここ数年、韓国との歴史問題や竹島問題の影響を受け、一時期の韓流ブームが下火になっている。とはいえ、目白大学の人気学科である韓国語科の入試倍率や定員数は増加し、定員数を越える学生が入学している。なぜだろうか。韓国語学科科長の金敬鎬教授にその背景を尋ねた。

Q: 韓国語学科は人気がありますが、近年の竹島問題や北朝鮮問題で学生は減りましたか？

金敬鎬教授（以下K）: 韓には歴史問題や領土問題がかなり以前からあったといえます。これまではマスコミに騒がれると影響があり、観光客が減るとい傾向がありました。しかし、韓国語学科は歴史問題や領土問題の影響を受けていないといっても過言ではありません。高校生が目白大学韓国語学科を選択する背景には、韓流ブームがあることは事実でしょうが、それはある一面に過ぎないでしょう。大きな理由は、目白大学韓国語学科が特色としている留学プログラムにあると思います。すなわち、韓国の大学に1~2年留学できるというのが大きな要因でしょう。また、ネイティブの教員が多く、ネイティブの先生から直接教わりたいという希望を持っている学生も多いでしょう。

Q: 韓国への観光客は減少していますが、日本人留学生はどうですか？ 留学後は韓国への見方は変わりますか？



韓国語学科長 金敬鎬教授

K: 観光客が減ったのは、歴史問題の他にアベノミクスによる為替の問題もあると思います。留学後の学生の見方の変化に関しては、良くなったという人もいますが、少し怖くなったという人もいます。大体的には変わらないという人が多いです。良くなったという人の理由は、留学先でどんな体験をしたかからというイメージが変わると思います。留学を経験しながら、他の人と親しくすると良い部分も見えてきますが、悪い部分も見えてくるでしょう。悪くなったと答えた人の

大部分は自分の理想と違っていたと答えています。しかし、いずれにしろ留学して何も変わらなかった人より自分の体験を通して、物事を判断することはいいことでしょう。韓国を客観的に見ることができるようになったことの証だといえます。

Q: 韓国語学科を通じ学生たちに伝えたいことは？

K: 世界でグローバル化が進んでいます。最近、「グローバルズム」という新しい造語ができています。以前は国レベルだったのに対しポータルズやグローバル化の進展に伴い、ローカルというものが大事であると思われ始めています。世界を視野に入れながら、自分の国、又は地域が大切だという見方です。韓国と日本は近いけれど、外国なのでグローバルの観点で見ることができ、同じ東アジアの国ですので、東アジアの観点からみればローカルとして見ることができそうです。したがって、経済的に頑張っている日本、韓国、中国が、共栄圏としてEU(ヨーロッパ連合)のように世界をリードするシステムを作り、「グローバルズム」というグローバルとローカルを同時に推進していくことができると思っています。そのようなことができれば歴史問題を解決できるのではないのでしょうか。時間はかかるけれども若い人たちが繋がり、共通認識を持つていけば必ず良い方向に向かうはずだと思います。(編集部3年 杉本航)

本メディアでは報道されない、日本人の知らない中国の一般国民の生活ぶりや山あり。例えば、乗車券の買い方。日本に留学している中国人でさえ、帰国して驚いたとか。この夏、中国旅行に行かれる方は必読。

中国の鉄道乗車券の購入方法は、日本とは同じ窓口・自動販売機・インターネット・携帯電話という4つの方法で購入できる。だが、唯一日本と違うのは、長距離列車の乗車券購入方法だ。

中国では2011年月中旬から「乗車券实名制」が導入され始め、その翌年から全国に広がっていった。この制度は乗客が乗車券を購入する際、有効な身分証明書(原本のみ有効)を提示し、氏名及び身分証明書をシステムに登録する。すると乗車券に氏名及び身分証明書番号(誕生日の日付を\*にして隠す)が印刷され、乗客・乗車券・身分証明書が一致し、本人確認できるというシステムである。外国人にしてみれば、「なぜそんな制度を導入したのか」という疑問が湧いてくるだろう。だが実際、この制度が導入される以前、春运期間(中国で旧正月のころに交通量が非常に多くなる時期)は大変な「乗車券難民」に陥っていた。春运期間になると人々は帰省し、家族と一緒に祝うのが中国の伝統的な文化であり、この時期に乗車券を購入する人が激増する。

そのような状況を狙うタフ屋が荒稼ぎするために大量の乗車券を独占し、鉄道の運行を混乱させてしまった。タフ屋行為を防ぎ、国民の皆が乗車券を手ででき、その販売を効率的に管理するの「乗車券实名制」を導入した最大の理由だ。それに加えて、犯罪者が列車を利用して、逃げる事件を防ぐことや、人口の移動が大いいために、鉄道警備力不足などの問題を解決するためにも有効な手段として実施されている。

中国では2011年月中旬から「乗車券实名制」が導入され始め、その翌年から全国に広がっていった。この制度は乗客が乗車券を購入する際、有効な身分証明書(原本のみ有効)を提示し、氏名及び身分証明書をシステムに登録する。すると乗車券に氏名及び身分証明書番号(誕生日の日付を\*にして隠す)が印刷され、乗客・乗車券・身分証明書が一致し、本人確認できるというシステムである。外国人にしてみれば、「なぜそんな制度を導入したのか」という疑問が湧いてくるだろう。だが実際、この制度が導入される以前、春运期間(中国で旧正月のころに交通量が非常に多くなる時期)は大変な「乗車券難民」に陥っていた。春运期間になると人々は帰省し、家族と一緒に祝うのが中国の伝統的な文化であり、この時期に乗車券を購入する人が激増する。

そのような状況を狙うタフ屋が荒稼ぎするために大量の乗車券を独占し、鉄道の運行を混乱させてしまった。タフ屋行為を防ぎ、国民の皆が乗車券を手ででき、その販売を効率的に管理するの「乗車券实名制」を導入した最大の理由だ。それに加えて、犯罪者が列車を利用して、逃げる事件を防ぐことや、人口の移動が大いいために、鉄道警備力不足などの問題を解決するためにも有効な手段として実施されている。

# 中国乗車券の買い方 中国鉄道の革新

外国人の乗車券購入の注意点は、中国へ旅行している。旅行に際して、乗車券の購入方法を心得ておくほうが賢明であろう。一番便利な方法は有効な身分証明書を所持し、窓口で購入すること。身分証明書とは、パスポートや外国人出入国証や外国人在留証など身分を証明できるものに限る。それ以外、ネットや電話でも乗車券の予約もできる。ただし、乗車券を受け取る際、必ず有効な身分証明書を提示しなければならぬ。また、電話で予約した乗車券を24時間以内に受け取らない場合は、自動的にキャンセルとなる。この点も注意すべきである。

(編集部3年 周静)



新制度後の長距離列車の切符

## 乗客からの疑問の声

とはいえ、同制度が導入されて以来、乗客がこの制度の有効性を疑問視する意見がネットや新聞にしばしば載ったことがある。例えば、中国の「深圳特

編集長 小田阿弥  
デザイナー 杉本航  
編集 大友邦裕 松本崇弘 武山和正  
西田亜侑美 周静